

様式第1号 (第4条関係)

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和4年5月27日

(あて先)

さいたま市長

所在地 さいたま市岩槻区表慈恩寺 1374-24

団体名 特定非営利活動法人 [REDACTED]

代表者氏名 佐藤 美和 [REDACTED]

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金(一般助成事業・団体希望助成事業)の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- | | | | | |
|---|----------|---|----------------|---|
| 1 | 助成金交付申請額 | 金 | <u>781,000</u> | 円 |
| 2 | 事業計画書 | | | |
| 3 | 事業収支予算書 | | | |
| 4 | 団体概要 | | | |
| 5 | 添付書類 | | | |



事業計画書

団体名	特定非営利活動法人たねの会
-----	---------------

* 事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ 移動型プレイパークでのびのび遊べるまちをつくろう
事業の分野とその概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ <input type="checkbox"/> (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> 人権・平和 <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> その他 </div> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 経済活動 <input type="checkbox"/> 職業・雇用 <input type="checkbox"/> その他 </div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 農村漁村 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域安全 <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 情報化社会 <input type="checkbox"/> 消費者保護 () 遊びの環境づくりの専門職であるプレイワーカーが、ワクワクする遊び道具や素材を車に積んで、市内各地で移動型プレイパークを開催する。様々な場所での遊び場づくりの展開をモデル的に開催し、地域での担い手を育成するとともに、プレイパーク開催についての市民の意見や課題を抽出し、今後の活動・施策の参考とする。また、市内で活躍できるプレイワーカー育成のためのプログラムづくりについても検討していく。
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 都市公園課・子ども家庭総合センター総務課
マッチングファンドの申請回数 (前回の結果)	* マッチングファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り (効果・成果) を記入してください。 1 回目 (前回助成を受けた年度 : 年度)
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ 乳幼児～小中高生とその親、市民の方なら誰でも
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 4 年 5 月 ~ 令和 5 年 3 月
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？ (そのうち助成金はいくらですか？) 1,065,000 円 (助成金交付申請額 781,000 円)
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。

団体名	特定非営利活動法人たねの会
-----	---------------

1	現状における課題と事業の目的
<p>*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄） 近年の環境の変化によって、子どもたちの生活からは自由に遊べる場所・時間・仲間が不足している。空き地や公園においても禁止看板が目立ち、地域で子どもを見守りあうことのできるコミュニティも失われている。また、コロナ禍において様々なひずみが生じ、子どもたちをとりまく環境においても閉そく感が増し、子育ての孤立化の進行も懸念されている。</p>	
<p>*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？ 公園の整備、危険な場所への立ち入りの制限など、安全を守るための行政の施策は進められている。一方で子どもたちが健やかにたくましく育っていくためには身近な場所で小さな冒険を繰り返しのびのび遊ぶことが欠かせない。しかし、そのような子どものありようを許容できる取り組みや市民意識の醸成は不足していると思われる。また、コロナ禍において室内の公共施設での活動が中止とせざるを得ない状況において、そのことにより出てきた別の問題（虐待の増加や子どもの心・発達への弊害）解消にむけての重点的な取り組みが必要ではないか。</p>	
<p>*この事業は、何を目的に設定しましたか？ （目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。） 本来、子どもにとって「遊び」とは自らの可能性を広げていくために自然に備わっている生きる力であり、自由に遊べる環境（自らの力を試せる場所）や大人のサポート（安心感）があれば、困難があっても自らの力に気づき、たくましく生きていくことができる。それは子育てや生活、仕事に追われ余裕のなくなっている大人にとっても同じであり、コロナ禍における今こそ安心してつながれる地域での取り組みが必要である。そこで、そのような地域での取り組み、居場所づくりのきっかけとなるよう、市内各地で移動型のプレイパークを開催し、地域で子どもたちがのびのびと遊べる環境のつくり方を提案したい。また、地域の大人たちがつながれる場所をつくり、その後も遊び場づくりが継続されていくようなスタートアップにつなげたい。</p>	

2	事業の具体的な内容
<p>*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で） ※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
事業①の事業名	移動型プレイパークでのびのび遊べるまちをつくろう
いつ（ごろ）	第2水曜日・第2土曜日
どこで	市内公園・公共施設
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） NPO法人たねの会（プレイワーカー）と地域の協力者 （対象） 乳幼児親子～小中高生、地域の方、興味のある方なら誰でも
なにを	(1)移動型プレイパーク・・・プレイワーカーが車に遊び道具を積んで移動し、地域の大人や子どもたちと一緒につくっていく遊び場 (2)学習会（講演会&講習会①②） (3)プレイパークを継続していくにあたっての人材（プレイワーカー）育成に関する検討会

<p>どうする</p>	<p>(1)移動型プレイパーク・・・市内公園において、平日午前、平日午後、土曜日の3パターン3か所開催する 具体的な遊びの例：昔遊び（けん玉、ベーゴマ、コマ、お手玉等）・絵の具遊び・シャボン玉・ままごと 空き箱やダンボールを使った工作・基地づくり・廃材を使った木工・水遊び・泥遊び・鬼ごっこ その他 子どもの発想で自由に遊びが展開できるようにする。 ＊以下は公園管理者と相談 ・ロープを木にかけてつくるブランコやモンキーブリッジ(木が痛まないよう養生を行う) ・穴掘り（終了時には原状復帰をする） ・たき火（火をつけることへのチャレンジ、その火をつかった焼き物遊び、おしゃべり等）</p> <p>(2)学習会の開催・・・子どもにとっての遊びの大切さ、のびのびと育つための地域環境づくりについての講演会を開催する。また、実際にプレイパークを開催していくにあたっての手法や大人の役割について学べる講習会を開催する(2回)</p> <p>(3)検討会・・・遊び場づくりの専門職プレイワーカー育成についての検討会を行う</p>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

3 事業により期待できる成果・効果

*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？
 (団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)

【団体】子どもたちがのびのび遊べる環境・場所を市内に広げることができる。市との協働により、広く市民に周知することができる。行政機関や市民との連携について協議することでその後の活動に生かすことができる。

【市】以下の計画の推進に寄与することができる

●さいたま市総合振興計画「2030さいたま輝く未来と希望のまちプラン」

第3部第1章 コミュニティ・人権・多文化共生 第1節 ふれあいのある地域社会の形成と活性化

<目指す方向性> 地域住民等の交流や自主的な活動を促進し、ふれあいのある地域社会の形成と、地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組むまちを目指します。

第3部第7章 第1節 子ども・子育てを支える都市の実現

<目指す方向性> 誰もが安心して子どもを産み育てることができ、未来を担う全ての子ども・青少年が個性を尊重され、健やかに育ち、社会で輝いて生きられるまちづくりを推進します

●さいたま市みどりの基本計画 第4章 緑の推進施策の方針

基本方針2. さいたま市らしい身近な緑を守り、つくり、育てます

(4) 身近な緑の核づくり

②安全で魅力ある公園の整備 P.84

●市民のニーズを踏まえた特徴ある公園づくり

「子どもたちが冒険的な遊びを体験できるプレーパークの整備」

【参加者】普段の公園や家庭だけではできない創造的・主体的な遊びを体験することができる。そのことにより、子どもたちは元気になり自己肯定感を高めることになる。大人にとってもそのような子どもたちを見て元気になり、安心して子育てができるつながりを実感することができる。

4

この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性

*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？

2004～2005年「ミニプレーパーク」を市内の公園やキャンプ場などで開催（常盤公園、与野公園、さぎやま記念公園キャンプ場等）

2006年『冒険遊び場づくり講習会』開催（冒険遊び場 2 days in 別所沼公園開催）・2007年「別所沼プレーパーク」定期開催スタート（月1回・自主開催）

2009年『子どもに関わる仕事をめざす若者のための体験講座』開催（全3回）

「さいたま市市民提案型協働モデル事業～協働による冒険遊び場づくりモデル事業」実施

2010年 別所沼プレーパークがさいたま市の委託事業となる(月2回)

『広がれ！冒険遊び場づくり事業』開始（岩槻区、大宮区、緑区で展開）

2012年「さいたま冒険遊び場・たねの会 大宮プレーパーク実行委員会」発足

2016年「さいたま冒険遊び場・たねの会」から「あそびの森」「大宮プレーパーク・ねっこの会」がそれぞれ独立

「特定非営利活動法人たねの会」設立

2018年「冒険はらっぱ運営業務」受託（現在4年目）

2019年『遊び場づくりはじめて講座』『子どもに関わる大人のための連続講座』開催

*この課題に関連して、団体もつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？

○市内の様々な公園でプレイパークを開催してきたノウハウや実績がある。市民への周知や理解・協力をはかりやすい。

○経験のあるプレイワーカーを派遣し、安全と冒険を共存させた遊び場を、それぞれの地域(公園)に合わせて開くことができる。

○人材育成に関する講演・講座も豊富に開催してきている。

○プレイワーカー育成に関する検討会において、これまでのつながりや蓄積の中から適切な講師や情報を提示することができる。

*この課題に取り組む団体の思い（熱意・姿勢）はどんなことがありますか？

私たちたねの会は「子どもたちがのびのび遊べるまちをつくろう」をテーマに、2003年から活動をしてきました。当初、さいたま市内にはプレイパークの活動をしている人はおらず、知っている人もほとんどいませんでした。2人の母親が公園にダンボールをもちこんで居合わせた親子と遊ぶところからスタートし、仲間や理解を広げるための活動を繰返し、今に至ります。プレイパークの活動は、当事者が主体的に活動することが大切であり、楽しさと同時に理解や協力を得るための苦労もあります。しかし、そのプロセスこそがこの活動の意義であり、子どもたちの持っている本当の力に気づき、その芽をつぶさないためにできることを様々な立場の大人が知恵を出し合い、力を合わせていくことにこそ価値があると思っています。子どもたちがのびのびと育つためには、大人同士の豊かな関係づくりが必要です。それは、子どもにとってのみでなく、大人にとっても安心して暮らせるまちづくりにつながります。本事業では、移動型プレイパークを通じて、子どもも大人も困った時には助け合える豊かなまちづくりに向け、たねまきができれば嬉しいです。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人たねの会
-----	---------------

5 市との協働に期待すること

*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）

都市公園課・さいたま市子ども家庭総合センター総務課

*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？

○都市公園課・・・公園の利用・公園での展開・継続の仕方についての相談や周知における協働
 ○さいたま市子ども家庭総合センター総務課・・・冒険はらっぱ(プレイパーク)の活動実績からみた情報提供、プレイワーカー育成における協働、子育て施設との連携や周知における協働、事業継続における相談
 また、協働による事業の信頼性の向上や広報の支援により、広い対象に周知できることを期待しています

*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。

■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援	■市が持つ施設などの資源による協力・支援
「プレイパーク開催に関する行政的な目線での支援・情報の提供」	「公園の利用についての許可・助言」
「(公園の情報や団体についての情報提供等)」	「公共施設の優先予約（講演会や講習会の会場として）」
「 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」
■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援	■その他
「広報の支援（市報、web、チラシの配布・掲示等）」	「他の主体との連携にかかる支援」
「 」	「講演会・検討会への参加」
「 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」

6 助成終了後の事業展開

*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？
 ※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

本事業終了後も、当法人として本マッチングファンドの2年目を申請し、他地域にもさらにプレイパークの活動を広げられるよう、移動型のプレイパーク活動を継続したい。また、本事業でプレイパークを開催した地域におけるサポートも続けることで、各地域の方が主体となってプレイパークを継続していける状態を目指したい。行政との協働においては、1年目の課題や市民の意見をもとに、公園の利用方法や担い手やプレイワーカーの育成を含め、市内でプレイパーク活動が展開されていくための支援のあり方や望ましい連携、役割分担についてさらに検討し、これらの活動が市内に公平に広がり、安定して継続されていくための施策づくりに向け、さらに協働していきたい。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名

特定非営利活動法人たねの会

7 事業の詳細な計画

事業①

移動型プレイパークでのびのび遊べるまちをつくろう

* 事業の計画はどのように考えていますか？

準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。

※ 目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。

実施時期

実施内容

5月

移動型プレイパークの実施場所の決定・調整（3か所）
移動型プレイパークの準備（道具・素材の準備、スタッフの打合せ）

6～7月

移動型プレイパークの実施

①平日午前実施パターン（乳幼児親子対象） 第2水曜日 10～12時
②放課後実施パターン（幼稚園・小学生対象） 第2水曜日 15～17時
③土曜日実施パターン（乳幼児～小中学生親子対象） 第2土曜日 11～15時

* 開始前に打合せ、開催後に振り返りを行う
* いずれも、地域の方なら誰でも参加OKにする
* 参加者や周辺住民に開催についての感想や意見に関する〈アンケート（1回目）〉をとっていく

6/8(水) 移動型プレイパークの実施（10～12時 番場公園 / 15～17時 プラザ中央公園）
6/11(土) 移動型プレイパークの実施（11～15時 岩槻城址公園）

7月

7/9(土) 移動型プレイパークの実施（11～15時 岩槻城址公園）
7/13(水) 移動型プレイパークの実施（10～12時 番場公園 / 15～17時 プラザ中央公園）

8月

〈アンケートまとめ〉
8/3(水) 講習会の開催①（10～12時 岩槻コミュニティセンターにて）

9～11月

移動型プレイパークの実施（上記の3パターン3か所の継続）〈アンケート実施（2回目）〉

9/7(水) 10～12時 プレイワーカー育成に関する検討会①（あいぱれっとオープンスタジオにて）
9/10(土) 移動型プレイパークの実施（11～15時 岩槻城址公園）
9/14(水) 移動型プレイパークの実施（10～12時 番場公園 / 15～17時 プラザ中央公園）
10/8(土) 移動型プレイパークの実施（11～15時 岩槻城址公園）
10/12(水) 移動型プレイパークの実施（10～12時 番場公園 / 15～17時 プラザ中央公園）
11/9(水) 移動型プレイパークの実施（10～12時 番場公園 / 15～17時 プラザ中央公園）
11/12(土) 移動型プレイパークの実施（11～15時 岩槻城址公園）

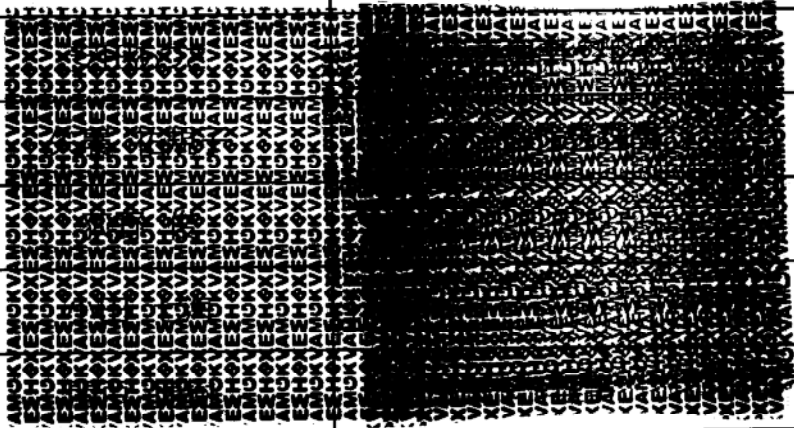
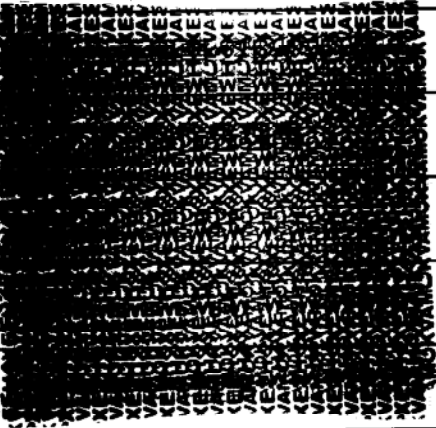
12月

〈アンケートまとめ〉
12/14(水) 10～11時半 オンライン講演会『子どもの育ちに必要な遊びの環境づくりと大人の役割』

1月	1/18(水) 講習会の開催② (10～12時 シーノ大宮にて)
2月	2/1(水) 10～12時 プレイワーカ-育成に関する検討会② (あいぱれっとオープンスタジオにて) <報告書作成>
3月	<報告書の完成・配布>

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人たねの会
-----	---------------

8 事業の実施体制		
* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。		
氏名	団体における役職等	この事業における役割
佐藤 美和	代表理事・プレイヤー	事務局長/地域・行政との連携
		事務局
		事務局（経理担当）
		プレイヤー/講習会講師
		プレイヤー/講習会講師
		講演会・検討会①講師

9 他団体との連携状況	
* この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。	
プレイパーク開催においては、各地域の市民団体や自治会、公共施設等と連携して行う。 (子育て支援センターや児童センター、子ども食堂や自治会、商店街等)	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	1,065,000
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	284,000
団体の自己資金	① 自己拠出金		220,000
	② 寄付金	2,900円×10日	29,000
	③		
費用の徴収	④ 講演会参加費	500円×30人	15,000
	⑤ 講習会参加費	500円×20人×2回	20,000
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	781,000

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	1,065,000
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	プレイワーカー謝金2万×2名×10日	400,000
	② 謝金・報酬	講演会・検討会各3万 講習会3万×2回	120,000
	③ 謝金・報酬	保育謝礼5,000×3人×3回	45,000
	④ 旅費	プレイワーカー・講師交通費	44,000
	⑤ 消耗品費	プレイパーク時使用資材 (けん玉、絵具、工具、バケツ、はさみ等) 100,000 事務用品6,500	106,500
	⑥ 印刷製本費	資料印刷、チラシ作成、アンケート印刷、報告書	40,800
	⑦ 役務費 (通信運搬費等)	郵送費	2,700
	⑧ 賃借料	4,000×3回 (会場費)	12,000
	⑨ 保険料	賠償責任保険5,000 傷害保険5,000	10,000
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b) と同額	781,000
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪		
	⑫		
	⑬		
	⑭		
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 〔(c)の10%以内〕	⑮	
		⑯	
		⑰	
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑱ 事務局人件費	20,000×11か月
⑲ プレイワーカー補助人件費		5,000円×10日	50,000
⑳ プレイワーカー補助・講演会等交通費		1000×10日、1000円×4回	14,000
自己資金充当経費計 (d)		⑱～⑳の合計 (a) と同額	284,000

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
852,000	284,000	×	3 倍

労力換算額(無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額)(f) =1~10の計

金額	算出根拠			金額
自動計算	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]		自動計算
		1	人 ×	
	2	人 ×	時間 × 円	
	3	人 ×	時間 × 円	
	4	人 ×	時間 × 円	
	5	人 ×	時間 × 円	
	6	人 ×	時間 × 円	
	7	人 ×	時間 × 円	
	8	人 ×	時間 × 円	
	9	人 ×	時間 × 円	
	10	人 ×	時間 × 円	

助成金限度額(Z) = (e) + (f)

金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
852,000	852,000	+	自動計算

助成金交付申請額(b)	≤	(Z) 助成金限度額
781,000 円	≤	852,000 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

団体概要

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじんたねのかい			
団体名	特定非営利活動法人たねの会			
(ふりがな)	さとう みわ			
代表者	佐藤 美和			
連絡責任者	(ふりがな)			
	氏名			
	住所			
	電話/FAX			
	E-mail			
設立年月日	2016 年 10 月 19 日			
団体の目的	この法人は、冒険遊び場づくりをすすめるとともに、遊びを通じたコミュニティづくり、人材育成などを通して、子どもたちがのびのびと遊び育っていくことのできる、遊びあふれる豊かなまちをつつていくことを目的とする。			
会員数	個人会員 23 名	団体会員 0 団体		
さいたま市内における 主な活動内容	①子どもの遊び、遊び環境に関する啓発普及事業 ②冒険遊び場の主催・運営事業 ③冒険遊び場づくり支援事業 ④子どもの遊び、遊び環境に関わる人材育成事業 ⑤他団体との協働、ネットワークづくり事業			
団体の財政規模	本年度予算 (令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月)			
	<収入の部>			
	会費収入	175 千円	事業費	10,973 千円
	寄附収入	50 千円	管理運営費	76 千円
	事業収入	11,642 千円	その他支出	0 千円
	その他収入	100 千円		
	計	11,967 千円	計	11,049 千円
	前年度決算 (令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月)			
	<収入の部>			
	会費収入	84 千円	事業費	9,308 千円
寄附収入	19 千円	管理運営費	83 千円	
事業収入	9,930 千円	その他支出	0 千円	
その他収入	0 千円			
計	10,033 千円	計	9,391 千円	
添付書類	* <input type="checkbox"/> (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は会則等 <input checked="" type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度の団体の活動予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書(収支計算書) <input type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面(任意団体のみ) <input type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書(任意団体のみ) <input type="checkbox"/> その他 ()			